

災害廃棄物等処理の進捗状況(概要)

- 東日本大震災の発災後、約2年半を経過した時点(平成25年9月末)において、これまでの処理の進捗状況について広域処理の成果を含めて改めて整理(別添資料1)。
- 被災地における処理の状況を分かりやすく発信するため、環境省ホームページに「がれきフォトチャンネル」を開設しているが、最近の情報を整理(別添資料2)。

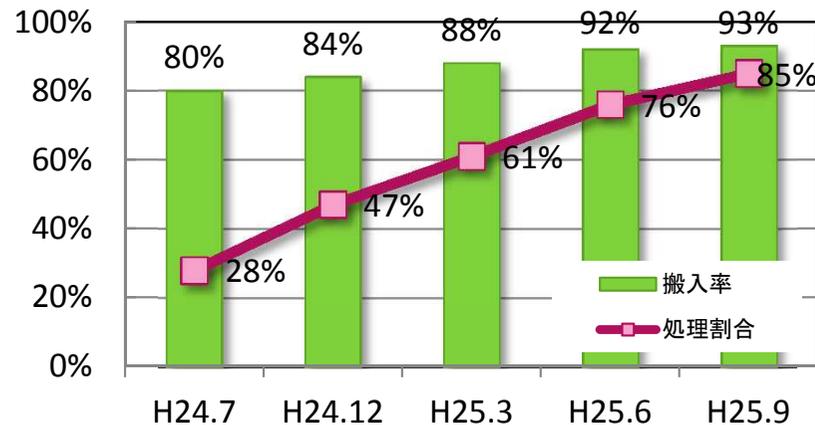
全体(13道県)の進捗状況(平成25年9月末現在)

- 災害廃棄物約2千万トンの約85%、津波堆積物約1千万トンの約70%が処理完了。
- 13道県239市町村中、174市町村(約73%)が処理完了。
- 岩手県、宮城県、福島県以外では、茨城県、栃木県、千葉県において災害廃棄物の処理を継続中。

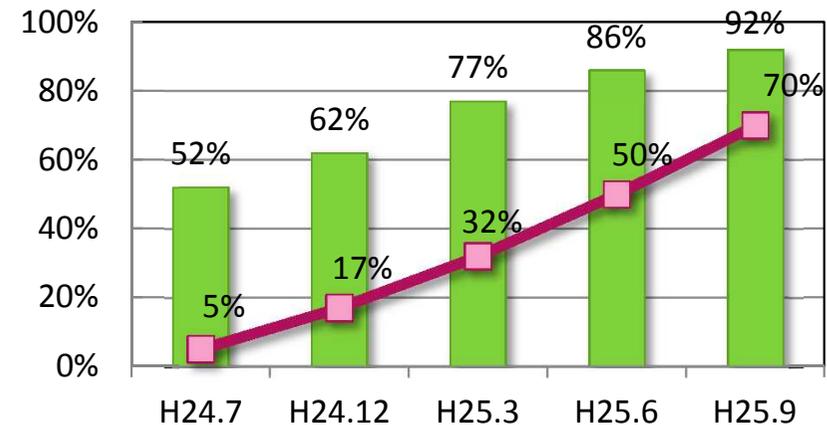
○災害廃棄物全体(13道県)の処理状況

	都道府県数	市町村数	災害廃棄物等推計量(千トン)	処理完了市町村数	処理量(千トン)			
					再生利用	焼却	埋立	合計
災害廃棄物	13	239	19,387	174 (73%)	13,438 [81%]	2,087 [13%]	1,021 [6%]	16,547 (85%)
津波堆積物	6	36	10,436	15 (42%)	7,191 [99%]	—	80 [1%]	7,271 (70%)

注1: 処理済市町村数、処理量の下端(%)は、それぞれ災害廃棄物発生市町村中の割合、全体量に対する進捗割合を示す。
注2: 処理量の内訳の下端[%]は、処理量の合計に対する割合を示す。



(a) 災害廃棄物の搬入率、処理割合の推移



(b) 津波堆積物の搬入率、処理割合の推移

3県沿岸市町村(岩手県・宮城県・福島県(避難区域を除く))の進捗状況(平成25年9月末現在)

(1) 災害廃棄物について

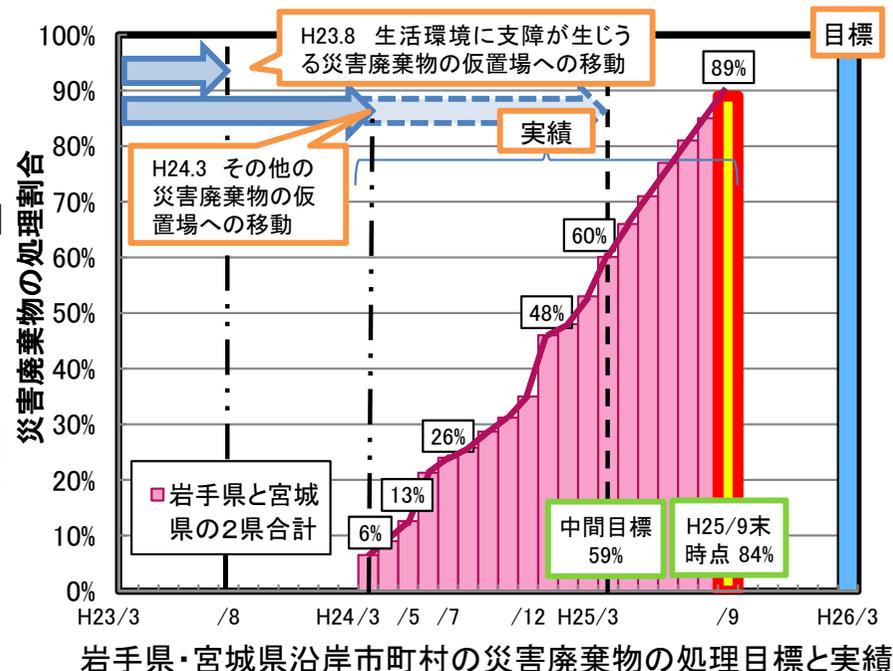
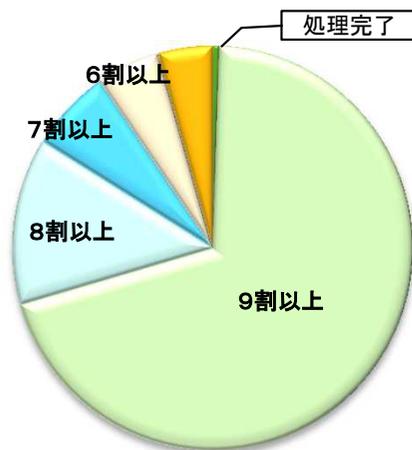
● 災害廃棄物処理の進捗状況

岩手県:82%、宮城県:91%、福島県:58% (3県:85%)

● 岩手県で8割超、宮城県で9割超に達し、ともに9月末時点での処理見込み割合を超過。2県合わせて処理割合は約9割。

● 釜石市、気仙沼ブロック、宮城東部ブロック、いわき市等、推計量の約7割を占める沿岸市町村において処理割合が9割を超えるなど、着実に処理が進捗。

進捗状況	市町村等
処理完了	利府町、松島町
9割以上	洋野町、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町、釜石市、気仙沼ブロック、宮城東部ブロック、仙台市、亘理名取ブロック、いわき市
8割以上	宮古市、大槌町、大船渡市、石巻ブロック
7割以上	陸前高田市



(2) 津波堆積物について

● 津波堆積物処理の進捗状況

岩手県:63%、宮城県:79%、福島県:36% (3県:69%)

● 岩手県、宮城県ともに9月末時点での処理見込み割合を超過。

○3県沿岸市町村(岩手県・宮城県・福島県(避難区域を除く))の処理状況(平成25年9月末現在)

	災害廃棄物等推計量(万t)	災害廃棄物				津波堆積物				仮置場設置数
		推計量(万t)	処理			推計量(万t)	処理			
			量(万t)	割合(%)	処理見込み割合(%)		量(万t)	割合(%)	処理見込み割合(%)	
岩手県	527	374	305(281)	82(75)	78	153	97(81)	63(53)	56	36
宮城県	1,777	1,060	968(936)	91(88)	87	717	564(502)	79(71)	76	49
福島県	337	171	99(97)	58(57)	—	166	59(55)	36(33)	—	29
合計	2,641	1,605	1,372(1,314)	85(82)	—	1,037	720(637)	69(62)	—	114

※ ()内は平成25年8月末の数値。

被災地における処理

- 災害廃棄物の仮置場への搬入率は95%、14市町村(32沿岸市町村のうち)で搬入完了。仮置場の設置数は114箇所(最大時の36%)に減少。残りの解体・搬入は、目標期間内に処理完了できるように調整しつつ、実施中。
- 岩手県・宮城県・福島県で22基の仮設焼却炉、19箇所の破碎・選別施設が稼働中。12基の仮設焼却炉※1と5箇所の破碎・選別施設※2は処理を完了。

※1 気仙沼処理区小泉地区、宮城東部ブロック、名取処理区、岩沼処理区、仙台市

※2 気仙沼処理区小泉地区、宮城東部ブロック、名取処理区、岩沼処理区、亶理処理区

広域処理

- 広域処理必要量約66万トンに対し、約51万トン(77%)受入実施済み。
- 実施件数は1都1府16県86件。うち62件は受入完了。
- 10月14日より、東京都(民間)で岩手県大船渡市の漁網系混合廃棄物の本格受入が開始。

再生利用等

- 災害廃棄物全体の8割以上、津波堆積物のほぼ全量が再生利用。
- 宮城県山元町の復興関連工事において、9月からコンクリートくずの利用開始。
- 災害廃棄物由来の再生資材を活用する公共事業(国、被災県・市町村)の調整先を概ね確保。



宮城県山元町の復興関連工事

今後の方針

- 岩手県・宮城県の災害廃棄物等について、目標期間(本年度)内で、できるだけ早期の処理完了を目指し、着実な処理を推進。
- 福島県の災害廃棄物等については、目標期間内に仮置場への搬入完了を目指すと共に、本年度末までの処理を可能な限り進め、平成26年度のできるだけ早期の処理完了を目指す。

災害廃棄物由来の再生資材を利用している主な公共事業

	事業	再生資材	利用量(万トン) (予定含む)
岩手県	海岸・河川堤防復旧事業	津波堆積物 コンクリートくず	23
	海岸防災林復旧事業	津波堆積物 コンクリートくず	17
	圃場整備事業	津波堆積物 コンクリートくず	45
	公園整備事業	津波堆積物 コンクリートくず	25
	漁港復旧事業	コンクリートくず	15
	仮置場造成事業	コンクリートくず	32
	その他事業	津波堆積物 コンクリートくず	66
宮城県	海岸・河川堤防復旧事業	津波堆積物 コンクリートくず	64
	海岸防災林復旧事業	津波堆積物 コンクリートくず	124
	圃場整備事業	津波堆積物	15
	公園整備事業	津波堆積物 コンクリートくず等	225
	漁港復旧事業	コンクリートくず	28
	仮置場造成事業	津波堆積物 コンクリートくず	83
	その他事業	津波堆積物 コンクリートくず	123
福島県	海岸・河川堤防復旧事業	コンクリートくず	9
	海岸防災林復旧事業	コンクリートくず	9
	公園整備事業	津波堆積物	16
	その他	コンクリートくず	11